

ボランティアセンター 東日本大震災支援ニュース

日本医療福祉生協連 近畿ブロック

No.21 2011年5月29日

発行担当 尼崎医療生協・堤

よどがわ保健生協から 支援隊到着

依頼件数

| | |
|-------|----|
| 泥かき | 7件 |
| 床板はがし | 4件 |
| 庭掃除 | 5件 |
| 引越し | 0件 |

27日午前9時、よどがわ保健生協からの支援隊6名が到着しました。大阪から車で13時間という長い時間をかけて来られたにも関わらず、午前は訪問行動、午後には、泥かきと目一杯動いていただきました。

今回の支援隊の働きの中でも特に、流されてしまったゴミ捨て場の代わりをつくっていただけたのは、非常に大きかったと思います。地域の方々も喜んでいらっしゃいました。

訪問行動においても、まだ調査ができていない区画に入っていただけたので、かなり前進できたと思います。



自転車が続々と希望者のもとに届いています



本日もまた1台自転車を届けさせていただきました。今回の依頼者は花釜地区に住む女性の方です。その方は、旦那さんと二人暮らしで、車はあるものの自身では運転できず、買い物に行くにも車ではガソリン代がかかってしまうので困っておられました。

自転車を届けると本当に喜んでいただけて、すぐに自転車にまたがり、そのままなかなか帰ってきませんでした。「自転車に乗るのが楽しい」と満面の笑みでおっしゃられていました。

坂元地区への支援について

坂元地区に住む方から物資の依頼があり、直接お届けしました。その方は服と布団がないということだったので、この地区に物資が届いているのかどうか気にかかり、班長さんにお話を伺いにいきました。すると今までほとんど届いておらず、「自宅に住む人はもらえないと思っていた」とおっしゃられていました。センターに物資があるにも関わらず届いてこないこと、地域によって支援の格差があること、問題は山積みですが、花釜の時と同じように班長さんと区長さんと連携を取ってしっかり行政からの物資が届くように手をうっていきたいと思います。